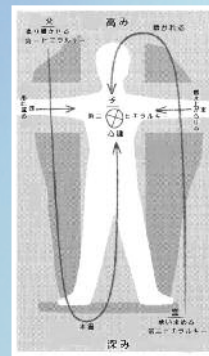


アントロポゾフィーの礎



ベルナード・リーヴァフッド
丹羽敏雄 訳

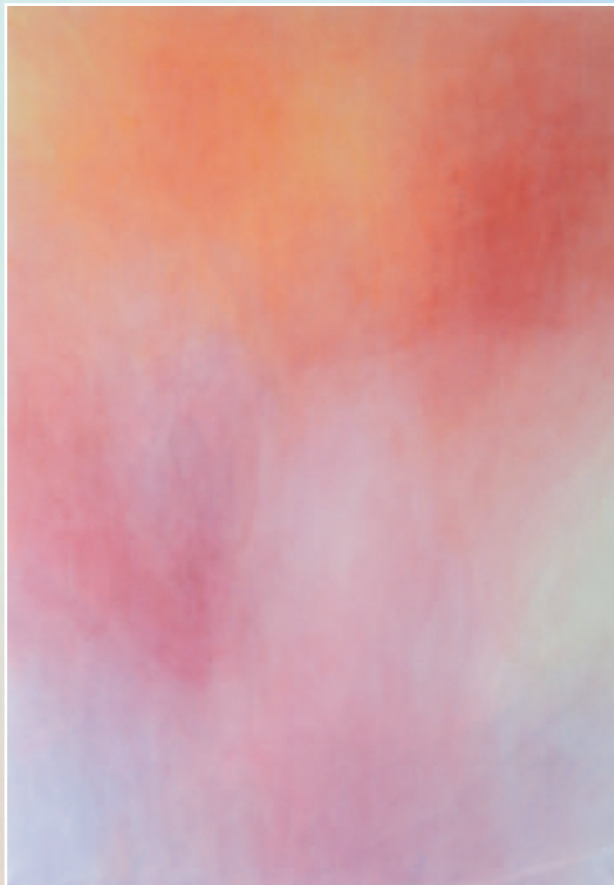
最晩年のシュタイナーが遺した未来への伝書・・・
「愛の礎石」とも呼ばれる“真言”を解く
リーヴァフッドの珠玉のような名著

私たちの文化の基盤を巡るひとつの戦いの真中にある今日、
この礎石はこれまで以上に現実的なものです。
この霊的闘いにおいて、
その発達のピークをすでに超えてしまった物質主義と、
その形態において未来をすでに指し示している、
目覚めつつある霊性との対決を私たちは体験します。

生み出す父の働きの創造的言葉が、上から下へと鳴り響き、
創造された世界の素材へと濃縮されていきます・・・
霊なる形成的宇宙諸観念は、
被造物の暗闇の中に魔法をかけられています。
それらは人間によって、この魔法をかけられた状態から
解放されることを望んでいます・・・
時間やリズム、発達の世界において、
キリストが《カルマの主》として力を振るっています・・・
これらすべてを、ひとつの全体像として目の前に据えますと、
私たちの霊的なまなざしの前に、
宇宙と人間の十字架が姿を顕します・・・
宇宙と人間の十字架の真中にある、
壮大な人間のイマジネーションにおいて、
全ての方向が流れる心臓の中で・・・十二面体の愛の形象である、
私たちの心臓の中に置かれた礎石の中で、出会うのです。
(本文より)

ベルナード・リーヴァフッド

インドネシア生まれ、精神科医。企業コンサルタント機関 NPI 創設者。
「金の羽ペン賞」に輝くオランダのベストセラー作家としても著名。
バイオフィーの療法の基礎を築いた。



表紙画：渡邊純一

A5変型フランス装 本文160頁
2700円+税 ISBN978-4-903865-38-6
新刊書／2017年12月24日発行

*近刊書（刊行時期やタイトル名称は未定です）

「十字架の道行と聖杯の血の秘密」

ユディット・フォン・ハレ 著 和田悠希+遠藤真理 訳
神秘家の系譜としてのハレのキリスト体験

「耳を傾ける人間と音楽という現実」

アーミン・フーゼマン 著 本田常雄 訳
耳の秘密を解く、自然科学と芸術を融合させた名著

株式会社 涼風書林

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 1-14-16
Tel/Fax 03-3710-5160
URL : <http://www.kirisutoshakyodotai.org/ryofu.html>
E-Mail : ryofu@kirisutoshakyodotai.org
涼風スペース : <http://ryofushorin.jimbo.com>
郵便振替口座 : 00180-1-356521